

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①長期休業中の学習会「アツマナビ」開催
- ②ディスカバリーカルチャー／世界の昆虫展／なぞなぞの答え
- ③さわやか町民登山会／厚真中央小学校サーフィン体験
- ④厚真町生徒たちの活躍／7月定例教育委員会／英会話教室第2期
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動報告

異学年や大学生との学び合いを大切に… 長期休業中の学習会「アツマナビ」開催

教育委員会では、8月1日（月）～4日（木）まで、町内の小中学生を対象に長期休業中の学習会「アツマナビ」を開催しました。

この事業は、長期休業中の生活リズム及び学習習慣の形成を図ることや共に学び合う活動を通して異学年との交流を図ることを目的に実施しています。中央地区、厚南地区で各2日間実施し、午前は小学1～4年生を、午後は小学5年生から中学3年生を対象に実施し、延べ131人の児童、生徒が参加しました。

この学習会には、札幌近郊の大学生に学習支援ボランティアとして協力をいただき実施しており、学習会の導入では、実際に通っている大学や大学生の1日の生活スケジュールについての紹介があり、参加した児童生徒からは、「自分で時間割を決めることができるのはうらやましい」、「大学って、自分が興味を持ったことが勉強できるので楽しくそう」などの感想が聞かれ、大学の生活に興味津々な様子でした。

小学校1年生から4年生の部では、特別授業と題して、厚真町や北海道のことを学ぶことができる「厚真町クイズ」や「北海道クイズ」のほか、頭の体操として「なぞなぞ」を行いました。「厚真町クイズ」では、意外と知らない厚真町の魅力を再発見できる良いきっかけとなりました。また授業とは違う学習会に、学校では学べない新たな発見や興味につながった様子でした。次回は、冬休みを予定しています、詳細は学校から配布されますので、参加をお待ちしております。

子どもたちがチャレンジした頭の体操の「なぞなぞ」下記に掲載しましたので、皆さんもチャレンジしてみてください。



ボランティアによる大学紹介



大学生から指導を受けながら
学習する参加者たち

★頭の体操「なぞなぞ」★

- 第1問 お腹と背中の中にあるものはなーんだ？
- 第2問 トイレに入るときに痩せていくものってなーんだ？
- 第3問 古ければ古いほど、若いものってなーんだ？
- 第4問 あがるだけでさがることのないものってなーんだ？

答えは次のページ
にあるよ！



ディスカバリーカルチャー開催状況 新発見×交流=楽しい

8月13日（土）のディスカバリーカルチャーは、夏の星空についてのプラネタリウム投影とアイヌの人々のアクセサリ「ガラス玉作り」を行い、子どもから高齢者まで15人が参加しました。

当日は、厚真町で発掘された約800年前のアイヌの人々のガラス玉のお話を聞き、一人一人が好みの色合いを思い浮かべながらガラス玉を作りました。ガラスが割れてしまうなどのトラブルもなく、参加者全員が自分で作り上げた、きれいなマール模様（大理石模様）のガラス玉に皮ひもなどのストラップをつけて持ち帰ることができました。



活動の様子は
こちらから

↑ できあがったマール模様のガラス玉

← ガラス玉づくりの様子

小学生以下は学芸員がサポート

9月の開催予定ー プラネタリウム×モルック

○日 時：9月10日（土） 午前10時～11時30分

○場 所：青少年センター2階ロビー

○申込み：教育委員会 社会教育G ☎27-2495



*皆さんはモルックを知っていますか？モルックは、フィンランドのカレリア地方の伝統的なゲームを基に1996年に開発されたスポーツで、木でできた棒を倒して得点を競うものです。

世界の昆虫展

-7月22日～8月17日 開催-

青少年センターでは、7月22日から8月17日まで「世界の昆虫展」が開催され、町内外から373人の来場がありました。青く輝く羽がきれいな「モルフオチョウ」など、世界各地のチョウやカブトムシの標本が展示されました。子どもたちから特に人気があったのが「フクロウチョウ」で、「羽の模様が本物のフクロウに見える」と驚いた様子でした。さらに昆虫展を見学した後に、詳しく知りたいと図書室の図鑑で調べている熱心な方もいました。

世界の昆虫展は、毎年、夏休み期間中に合わせて開催され、所蔵している約275点の昆虫標本から、約80点展示しています。来年も貴重な昆虫たちの姿を見に来てください。



フクロウチョウの標本

【なぜなぜの答え】

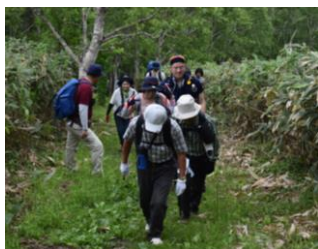
- ①「な」→おなかとせなかの真ん中には、「な」があるよ。 ②「トイレットペーパー」→使えば使うほど、小さくなる。
③「写真」→古い写真ほど、写っている人は若くなる。 ④「年齢」→毎年、年齢が上がり、下がることはない。

さわやか町民登山会開催

6月26日（日）、あつま山の会が主管する「第34回さわやか町民登山会」が開催されました。今回挑戦した山は長万部町にある写万部山（しゃまんべやま）です。標高が498.8メートルと初心者におすすめの山でもあり、子どもから大人まで幅広い世代の36人が参加しました。

当日は美しい景色を眺め、休憩も挟みながら登り、約1時間で全員無事に頂上に着くことができました。残念ながら開花時期が過ぎてしまい、花を見ることができませんでしたが、写万部山では例年たくさんの花が咲いており、きれいな花と美しい景色の両方を眺めながら山頂へと向かうことができます。

さわやか町民登山会は、「豊かな人間性を育てるとともに、自ら積極的に自然に挑戦して、自然を知り、自然に親しみ、健康で明るい郷土と町民の体力づくりに資する」ことを目的に毎年開催しています。自然に親しみながらの登山は、体力づくりにおいては絶好の機会です。来年度も開催予定ですので、多くの皆さんの参加をお待ちしております。



山頂を目指す参加者たち



山頂での集合写真

厚真中央小学校 サーフイン体験

～ふるさと教育～

厚真中央小学校第4学年の児童が、ふるさと教育の一環として7月19日（火）に浜厚真海浜公園で「サーフィン体験」を行いました。「厚真の海の魅力を伝えよう」をテーマに厚真ならではの良さを探ったり、講師へとインタビューをしたりするなど、体験的、探究的に学びました。

当日は、好天に恵まれ、波も穏やかでサーフィン日和となりました。今回が初めてのサーフィン体験、最初はボードの上に立つことができず苦戦していましたが、何度もチャレンジしていくうちにボードの上に立てるようになり、最後には波乗りを楽しむ児童もいました。

サーフィン体験を通して、「ボードの上でバランスをとるのが難しかった」「何度も海に落ちたけど楽しかった」などの感想が聞かれました。

講師を務めた村上巧さんは、「サーフィンには自然を相手にするため思うようにいかない時もある。人生においても同じようなことがあった時にはくじけずに頑張ってもらいたい」と話していました。



好天の下、サーフィンを体験



波乗りの説明を受ける児童たち

厚真町の生徒たちが活躍！

～全道大会へ出場～

7月27日から3日間、北見市東陵陸上競技場で「第53回北海道中学校陸上競技大会」が行われました。厚真中学校からは2年生のおおがきたからくんと、なかしまかなでさん。3年生のかじたにれいやくんの3人。厚南中学校からは2年生のきたじまみさとさん、はまじまみづきさん。3年生のいとうしゅうゆうくん、まのかおるくんの4人の計7人が出場しました。各選手ともに奮闘し好成績を残しました。なお、大垣尊良くんは男子砲丸投げの競技で全国大会への出場を決めました。



全道大会へ出場した選手たち

ジャベリックボール投げで、北海道小学生記録更新

7月9日「苫小牧記録会第2戦」が行われ、上厚真小学校3年生のかわむらみのさんがジャベリックボール投げ出場し、36m38cm投げ、北海道小学3年生の記録を更新しました。使用するジャベリックボールは、羽のついた楕円形のボールで、小学生のやり投げの普及を目的に始めました。



ジャベリックボール



7月定例教育委員会

7月29日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

中央地区学校運営協議会第1回会議について／厚南地区学校運営協議会第1回会議について／厚真高等学校教育振興会役員会及び総会について／令和4年度第2回公立高等学校配置計画地域別検討協議会（胆振東学区）について／第1回厚真町教育委員会外部評価委員会について／中村奨学金、近藤奨学金、加賀谷厚三・明美奨学金給付者の決定について／7月の校長会議・教頭会議について／厚真町社会教育委員の会議開催／厚真町青少年健全育成委員会開催／「厚真町の魅力を詰め込んだガイドブックを作ろう」ワークショップ／ディスカバリーカルチャー／放課後子ども教室・特別教室

◆議案

外国青年英語指導助手任用規則の一部改正について／厚真町家庭学習のための通信機器貸与事業実施要項の制定について

◆その他

令和4年度移動教育委員会の開催について／町内小中学校内及び厚真町学校給食センター内における新型コロナウイルス感染状況について

★問合せ

教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

ー大切なのは”伝える”ということー 英会話教室第2期始まります！

教育委員会では、毎年、英会話教室を開講しています。8月24日（水）から第2期が始まります。オーストラリア出身のアルビン・クマル先生と一緒に楽しく英語を学びましょう。

○日時 8月24日～12月14日までの毎週水曜日
17:30～初心者クラス、18:30～上級者クラス

※11月16日、23日は実施しません

○場所 青少年センター2階 研修室

○対象 中学生以上

※19時以降の中学生の参加は保護者同伴または、送迎をお願いします。

○申込み 社会教育G（27-2495）※随時募集



英語を使って外国人との「やりとり」を楽しみます。

【問い合わせ・申し込み】

教育委員会社会教育グループ ☎27-2495

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

TEL 27-2321 (土日)

ぬいぐるみの図書室探検 参加者募集

皆さんのぬいぐるみやお人形に図書室を探検させてみませんか？

お預かりしたぬいぐるみが図書室の中を探検して、あなたのために本を選びます。お迎えの時には、ぬいぐるみが選んだ本と、図書室の中を探検している写真をアルバムにしてお渡します。

元々はアメリカで、子どもに図書室の使い方や興味を持ってもらうために始まった取組で、現在は日本各地の図書館でも行われています。

また、今回の「ぬいぐるみの図書室探検」は中学生の職場体験の一環として行います。参加者の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。



ぬいぐるみの図書室探検 参加要項

対象:厚真町内在住の方とぬいぐるみ・人形

お預かり期間:9月6日(火)~9日(金)

内容:お預かりしたぬいぐるみが図書室を探検している様子を通して、図書室の利用の方法などを学びます。また、撮影した写真はアルバムにして、ぬいぐるみをお返しする際にお渡します。

参加人数:10組(先着順)

事前の申し込みが必要です。青少年センター図書室カウンターにある参加申込書に記入しお申し込みください。

9月5日(月)締切となります。

(定員になり次第、募集を終了いたします。)

集合とお迎えについて:9月5日(月)までにぬいぐるみを図書室へ連れて来てください。ぬいぐるみのお迎えは10日(土)以降にお願いします。

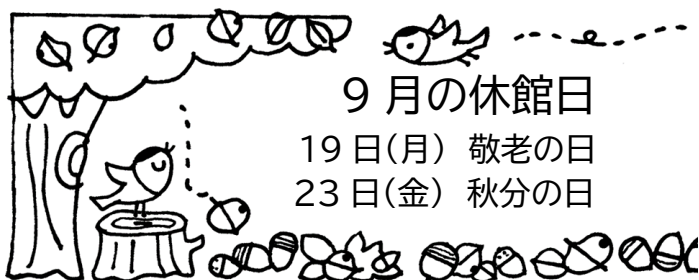
詳しくは青少年センター図書室カウンターまでお問い合わせください。(問い合わせは平日のみ)

胆振東部地震関連資料と防災の日関連資料 展示のお知らせ

2018年胆振東部地震発災当時の新聞と関連資料の展示を行います。また、9月1日が防災の日でもあることから、自宅でも取り組むことができる災害への備えをテーマにした展示も行います。

期 間:8月29日(月)~9月9日(金)

展示場所:青少年センター1階 カウンター横



9月の休館日

19日(月) 敬老の日

23日(金) 秋分の日

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時 (月・水・金・土・日)

午前9時から午後7時 (火・木)

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時 (月~日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

9月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは

22日(木) 10時から10時半まで 場所:青少年センター絵本コーナー

☆放課後子ども教室活動報告☆

今年の夏は涼しい日が多く、北海道らしいカラっとした日差しのもと、過ごしやすい日々を送りました。子どもたちは夏休みを終え、2学期がスタートしました。放課後子ども教室も、小学校の始業に合わせて平日の活動が始まります。2学期は夏から秋へ、そして冬へと季節の移り変わりを感ぜられる4か月です。人との関わり、自然との関わりを大切に、子どもたちと良き時間を過ごしたいと思います。

夏休み期間中、通常教室（平日の活動）はお休みとなっていた子ども教室ですが、夏休み特別教室として2つプログラムを実施しました。1つ目は、大沼野営場での虫&生き物探しプログラムです。当日の朝、虫とり網と虫かごを持って集合した子どもたちはやる気満々。まずは、青少年センター2階で開催されていた世界の昆虫展を見学し、図書室で生き物探しのポイントや飼い方などが載っている本を見て、よりモチベーションを高め、生き物探しの舞台となる大沼野営場へ向かいました。しかし、目的地に近づくにつれ、バスの窓ガラスにはポツポツと雨粒が。みんなのやる気をもてあそぶような、雨が降ったりやんだりの不安定な空模様でした。天気予報を見ながら作戦を立て直し、予定より少し早めにお昼ご飯を済ませ、午後から出直すことに決めました。今度こそ！と出発すると、次第に空は明るくなり、お日さまも顔を出すまでに天気は回復。大沼に咲くハスの上を、オニヤンマやギンヤンマがすいすいと飛びかっています。腹ごしらえも済んでいる子どもたちは充電もバッチリです。時間いっぱい、飽きることなく生き物探しを満喫しました。

2つ目のプログラムは、むかわ町穂別地区での川遊びです。高学年を対象に行いました。川遊びは当日の天候もさることながら、事前の天気も活動に大きく関わります。雨が続いた影響により、例年より水量は多く、流れも速くなっています。加えて、水温も低く一歩足を入れるとその冷たさにヒヤッと声が出ました。下見の段階でこのような見通しがあり、当日も現地の状況を確認して、出来る遊び・出来ない遊びの判断をスタッフ間で共有し、安全を第一に活動しました。自由度の制限は大きかったかもしれませんが、子どもたちはそのような中でも楽しみを見つけます。またスタッフも一緒になって、全力で子どもたちと遊んでくれたおかげで、限られた環境ではあったものの、全体の満足度は高かったと感じています。ご協力いただいたスタッフのみなさんに感謝です。夏休みの特別教室は本来、3つの活動を予定していましたが、児童への新型コロナウイルスの感染が増加傾向にある状況から、浜厚真海岸でのサーフィン体験は中止という判断に至りました。残念な気持ちは残りますが、浜厚真の海は逃げません。来年、またリベンジしたいと思います。

